

※毎年12月の定例議会には奥尻高校3年生の皆さんが傍聴に来られます。

今回の傍聴者数は、生徒が26人、引率の先生が2人の合計28人でした。

いつもまばらな傍聴席がこの日は満員状態で議会も雰囲気が変わり、おかげでいつも以上に気合いの入っている議員も見受けられました。

定例会終了後、生徒から感想文が寄せられました。本日は全員の文章を載せたかったのですが、紙面の都合上、男女1名ずつしか掲載できませんでしたのでどうかご了承下さい。

私たちも大変よい刺激を受ける機会になりましたので、高校生の皆さんや先生方にまずはお礼を申し上げます。

また、傍聴に来られたみなさんは春には進学、就職等進路は別々ですが、皆さんの活躍をお祈りすることにも、議会が開かれる際はまた是非傍聴に来られますようお待ちしております。

これからの人生を応援しております。

☆町議会見学

3年 S君

今回町議会を見学して最初に吃驚したことは、議題の中に身近なところがあったところ。見学する前までは予算についてなど、難しい議題だけだと思っていましたが、実際は廃食用油を利用してせっけん作りについてや、奥尻の祭についてなど、身近で理解しやすい内容も含まれていました。

また、事前学習をした時、市町村議会の討論では発言する人は少ないと聞いていましたが、奥尻町議会は頻りに意見が飛び交い、細かな点でも疑問を抱けばすぐに質問するところを見て、奥尻に対して真剣に取り組んでいるのが伝わってきました。

☆議会見学

3年 Nさん

今までは全く政治に興味がなくニュースなどもあまり見ていませんでした。しかし、今回初めて議会見学をし、もっと政治に興味を持たなければいけないと思いました。二十歳になったら選挙権も持つし、これからは自分達が島や日本を支えていかなければいけないという自覚を持ちました。

島の議員は平均的に年配の方が多く、もう少し若い方がいた方が若い人の意見を聞き、取り入れる事もできるのではないかと思います。また女性議員がいなかったのも、女性の方もいた方がいいと思いました。齋藤議員が言っていた町長が町民の意見を聞けるようにする会を設けるといふ案に賛成です。町長が町民の声を聞くことで刺激されるこ

ともあると思うし、町民も直接町長に言った方が思いが伝わりやすいと思います。議会を見学し、少しでも政治に興味を持ちました。また機会があれば見てみたいと思いました。進学をし卒業後に奥尻島に戻って来ることができれば、ぜひ議員という形ではありませんが、町民の為に働きたいと思いました。



議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか!

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけです。

☆☆☆☆☆ 次の定例会は3月です。☆☆☆☆☆